



Q: 朝、「おなか痛い」「幼稚園、行きたくない」と言う。何を聞いても、ただ泣くばかり。家に帰ると、ぐずぐず言うことが増えた。すぐに怒る。甘えてべたべたする。今までできていたのに、自分でやろうとしない。夜泣きをすることがある……。最近の子供の様子に、どうして? どうしたらいいの?

A: ① 毎日暑さ厳しい2学期のスタートでしたが、ようやく過ごしやすくなりました。10月、運動会シーズンで、体操やかけっこ等、毎日、子供たちは元気にお友達と一緒に動いています。朝、ぐずっていても、みんなで遊び始めると元気な子供たちの姿をたくさん見かけます。

③ 先生に、幼稚園の様子を聞いたり、家庭での様子を話したり、相談してみましょう。



② でも、朝、ぐずぐず言い、元気がないのは、疲れもたっぷりたまっているということです。夏の熱さの疲れもあるし、体も本当にしんどいでしょう。みんなと一緒に集団生活でたくさん遊び、楽しい!というのも本当。でも家庭とは違い、自分の思うようにはいかず、我慢したり、満足できなかったり、葛藤し、イライラすることもあります(マイナスのように思えますが、この気持ちを切りかえたり、立て直したり、集団生活の中での体験を通して学ぶ大切な力です)。子供たちはがんばっていますが、ちょうど疲れが出る頃かなと思います。

④ 家庭では、「楽しかったね」と声をかけてやり、ほっと一息。おやつや飲み物もいいですね。帰り道、お母さんにギュッと手を握ってもらったり、お家で膝の上ののせてもらったり、抱きしめてもらうのもうれしいですよ。子供たちがにっこりする時間が過ぎてせたらいいですね。そうすることで翌日のエネルギーを蓄えています。



⑤ 「どうして泣くの!」「大丈夫だから」「がんばって!」「元気出して!」と、はっぱをかけるよりも、「しんどかったね」「お母さん、知ってるよ、わかるよ」等、子供の思いを受けとめ、寄り添い、後ろから支えてやることも大切です。引っ張って、引っ張り上げて何とかしようと思わず、並んでみるのもいいですね。ゆっくり、親子で歩む時間も大切です。子供って、いろいろな力を内に秘めています。

『日々、成長しています』

子供たちは、日々いろいろな経験をして、成長しています。1学期の頃と比べて、体も大きくなり、表情を見ても、お兄さん、お姉さんになったなと感じます。2学期は、運動会などの行事や日々の遊びの場面を通して、友達と一緒に挑戦し、がんばったこと、うれしい、楽しい、くやしい、しんどい、いろいろな思いを通して大きくなっていくのだと思います。

< 横谷・岩本 >

